

特集

臨床試験・治験にアクティブに関わる CRCとの協働を支える看護マネジメント

近年、専門的知識と科学的センスを持って、手厚い被験者ケアを提供する臨床看護師の役割に注目が集まっている。データの質と医療安全を担保した臨床試験・治験を行い、日本発の新たな治療やケアを生み出すためにはその存在が欠かせなくなっている。本特集では、そうした臨床看護師と臨床研究コーディネーター（CRC）の役割の違いや協働における課題を、さまざまな立場から解説し、試験の質と被験者ケア、スタッフの安全を担保するための看護マネジメントについて考察する。

【コラム】治験サンライズカンファレンスのこと ●井部俊子

臨床試験・治験の動向と臨床看護師に求められていること
十分な被験者ケアとデータの質の担保 ●小原泉

海外で広がる臨床研究看護の概念と日本の状況を踏まえて
臨床看護師だからこそできる被験者ケア ●藤原紀子

臨床試験・治験にポジティブに関わるための臨床看護師とCRCの協働
臨床看護師の立場からの提言 ●松田夕香

臨床試験・治験を円滑に実施するための運営
CRCの立場から考える臨床研究看護 ●山岸美奈子

新しい治療やケアを生み出す臨床試験・治験に関わる意義 ●山本晴子
外来通院治療センター看護師とCRCの連携
円滑な実施のためのツールの工夫 ●中濱洋子

一般診療の流れに沿った治験・臨床試験の円滑な実施 ●新美三由紀

巻頭

うちの師長会・主任会㊿ 日本赤十字社 長崎原爆病院

特別記事

【昭和大学病院の臨床と基礎教育が連携した取り組み①】

【対談】臨地実習への「臨床教員制度」の導入

昭和大学の理念と臨床教員制度導入の背景 ●小口勝司／市川幾恵

編集後記

▶先日、医療シミュレーション教育の第一人者であるハワイ大学医学部教授ベンジャミン・バーグ先生のインストラクショナルデザインに関するレクチャーを聴講させていただきました。その中で学習者の自律的学習を支えるための、指導者によるデブリーフィングやフィードバックについてお話があり、本号の特集テーマ「承認」と共通する部分があると感じました。バーグ先生はアクティブラーニングの場における指導者の姿勢として、「熱心な聞き手であること」「柔軟な思考を持つこと」「指導者自身に焦点を当てないこと（学習者の視点や体験を重視すること）」「さまざまな技法を駆使すること」「静か、穏やかであること」の5点を挙げられました。単に「スタッフの承認を」と言われてもなかなか難しい部分があると思うのですが、スタッフを尊重し、敬意を表するための行動指針として、バーグ先生による5つのポイントは臨床でも役立つのではないかと感じました。（小齋）

▶埼玉県は海なし県として有名だからでしょうか、川魚料理の老舗が多く残っており、うなぎや鯉が有名です。▶鯉はうなぎと同じく精のつく食べ物として重宝されてきたようです。刺身を氷水で締める「洗い」、味噌煮込みにする「鯉こく」、甘辛く煮る「うま煮」のような食べ方があり、特に鯉こくはお母さんが食べるとよく母乳が出ると言われ、埼玉だけでなく関東を中心に鯉食文化があったそうです。泥臭そうなイメージがありますが、調理方法がしっかりしていると癖もなく、脂が適度になって美味です。▶中国の伝承にある鯉の滝登りや、男の子の節句定番のこいのぼりなど、縁起物としての性格も備えています。池でバクバクとエサを待つ姿を見ると、なんだか間抜けに見えますが、改めてその存在を捉え直すと優秀なことに気が付きます。表面だけでなく、一見分からないよさに目を向けることも重要だと感じる瞬間です。▶お店で出てくるのは、そのへんから獲ってくるのではなく食用です。（宇津井）

看護管理 第26巻第4号

2016年4月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2016, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2016年年間購読料

冊子版 本体16920円＋税

冊子＋電子版／個人 本体19920円＋税

冊子＋電子版／共有 本体22500円＋税

電子版／個人 本体16920円＋税

電子版／共有 本体19500円＋税

（いずれも送料弊社負担）

『看護管理』編集室（担当：小齋、宇津井、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

〔年間購読のお申し込み先〕

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、（株）医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複製、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構委託出版物）複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構の許諾を得てください（TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp）。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された[0917-1355/16/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY]は、1論文1回複製の料金を明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook やってます!

アカウントをお持ちの方は「看護管理」で検索していただき、「いいね!」をお願いいたします。
http://www.facebook.com/kangokanri1991
●twitter アカウントは、@kangokanriです。
合わせてフォローをお願いいたします。